

H20, SUM

CMnavi

No. 25

(社)日本建設機械化協会
中国支部

第57回中国支部通常総会開催

社団法人日本建設機械化協会中国支部の第57回通常総会を、平成20年6月10日午後2時30分より八丁堀シャンテにおいて、本部から松隈専務理事をはじめ評議員、顧問、参与、団体会員等総数92名の出席のもと開催しました。

中村支部長、松隈専務理事の挨拶につづき第1号議案平成19年度事業報告、第2号議案平成19年度決算報告、会計監査報告が行われ両議案とも異義なく承認された。第3号議案任期満了に伴う運営委員および会計監事選任については、候補者名簿のとおり選任され、その後支部長、副支部長の選任が行われたほか評議員等の委嘱、任命が行われた。第4号議案平成20年度事業計画、第5号議案平成20年度収支予算の説明があり、いずれも原案どおり承認可決され、午後4時15分総会は終了しました。



挨拶をする本部松隈専務理事

平成20年度 建設の機械化施工優良技術者の表彰

中国支部の平成20年度建設の機械化施工優良技術者の表彰式が、第57回支部通常総会に引き続いて挙行されました。

本表彰式は、当支部としては37回目の実施となりこれまでの受賞者は延べ1,039人になりました。

【受賞された方】

《運転・整備部門》 3名

瀬尾秀史・ヤマモトロックマシン株式会社
平川 収・株式会社 原 商
水田吾三・日本道路株式会社

《管理部門》 2名

稲益 均・コマツ中国株式会社
後東輝伸・株式会社大和エンジニアリング

《技術開発部門》 1名

植木章雅・アイサワ工業株式会社



建設の機械化施工優良技術者の表彰式

平成20年度主要（発表会・講習会等）行事決定

今年度の事業については、第57回支部通常総会で承認された事業計画に基づいて、月1回程度講習会等を実施いたします。

日時	行事名	内容	備考
4月15日	第22回 新技術・新工法発表会 場所：広島国際教育センター	新技術・新工法発表課題（3課題） 映像による最近の機械化施工の紹介（7件）	
6月10日	通常総会記念講演 場所：八丁堀シャンテ	演題：原子力発電所土木施設の耐震安全性 評価の取り組み	会員
6月26日	大口径岩盤削孔・建設機械等 損料・橋梁架設講習会 場所：広島国際教育センター	大口径岩盤削孔・建設機械等損料・鋼橋架設・PC橋架 設の施工技術と積算	一般 募集
7月24日	捨てない土木 現場循環型工法 セミナー&実演会 in 中国 場所：広島市西区商工センター	・現場リサイクルへの取組みと稼働事例のご紹介他 ・施工事例紹介 ・実演、実機見学	一般 募集
9月24日	第23回 新技術・新工法発表会	新技術・新工法発表課題 6課題	一般 募集
10月中旬	建設技術講習会 場所：広島市	建設事業の改善等に関する技術講習会	一般 募集
11月中旬	新技術活用工事現場研修会 場所：未定	新技術活用工事現場研修会の工事現場を募集しています。	会員
11月下旬	道路除雪講習会 場所：松江市	道路除雪に関する技術講習会	一般 募集
1月下旬	建設機械・機械設備技術講習会 場所：広島市	建設機械及び機械設備の性能・機能向上等に関する技術 講習会	一般 募集

今後の講習会等行事予定

日時	行事名	内容	備考
9月24日	第23回 新技術・新工法発表会 場所：国際教育センター	①道路建設における環境に優しい硬質岩盤剥離掘削技術 ②マンホール浮上抑制工法「ハットリング工法」 ③情報化施工（3次元データによる敷き均し） ④センサー機能を有する補強土壁「アダムウォール工法」 ⑤コンクリートの表面保護工法「スケルトンコーティングシリーズ」 ⑥冬期路面対策として凍結抑制機能を付加した舗装	一般 募集

注、当協会で開催する講習会、発表会、研修会等は、土木施工管理技士、RCCM、技術士資格取得者の継続学習制度（CPDS）並びに継続研鑽制度（CPD）等の学習プログラムとして認定され、参加者には受講証もしくは参加証明書を発行いたします。

4月からの講習会等行事報告

■ 第22回新技術・新工法発表会の開催

日 時：4月15日（火）

場 所：広島国際教育センター

参加者：109名

新技術・新工法発表課題

- ① 3DMC連続鉄筋コンクリート舗装
- ② 鋼橋等鋼構造物の腐食劣化診断技術の開発
- ③ 環境に配慮した遮水壁工法「ECウォール工法」

映像による最近の機械化施工の紹介（7件）

- ① 世界初超大口径管推進工法
- ② テール内形状保持システム「TKS」
- ③ 無人化施工～災害に立ち向かう先端技術～
- ④ 汎用機械を使用した無人化施工システム「ロボQ」
- ⑤ 風景を創る～苫田ダムの大規模デザイン～



新技術・新工法発表会

■ 第57回通常総会記念講演の開催

日 時：6月10日（火）

場 所：八丁堀シャンテ

参加者：92名

演 題：原子力発電所土木施設の耐震安全性
評価の取り組み

講 師：(財)電力中央研究所 地球工学研究所
副所長 金津 努氏



記念講演

■ 大口径岩盤削孔・建設機械等損料・橋梁架設講習会の開催

日 時：6月26日（木）

場 所：広島国際教育センター

参加者：28名

内 容：

- ・ 大口径岩盤削孔の施工技術と積算
- ・ 建設機械等損料の積算
- ・ 鋼橋架設の施工技術と積算
- ・ PC橋架設の施工技術と積算



技術講習会

■ 捨てない土木 現場環境型工法セミナー&実演会 in 中国の開催

日 時：7月24日（木）

場 所：広島サンプラザ

扇多目的広場（商工センター）

参加者：250名

内 容：

- ・ 現場リサイクルへの取組みと稼働事例のご紹介
- ・ リテラによる土質改良事業の展開と展望
- ・ 循環型社会を目指した建設リサイクルへの取組み
- ・ 施工事例紹介
- ・ 実演、実機見学 自走式土質改良機BZ210、
自走式スクリーンBM545S



建設機械新機種・新工法発表会

■ 防災コーナ

中国地方整備局と

「災害時における中国地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定書」を締結！！

- ◆この度当協会中国支部は、中国地方整備局との間で「災害時における中国地方整備局所管施設の応急対策業務に関する協定書」を6月10日に締結し、今後より一層防災業務の充実を図ることになりました。
- ◆当協会中国支部と防災協定を締結されている会員には「災害時における中国地方整備局所管施設の応急対策業務に関する協定書及びガイドライン」を6月17日に送付しましたので、防災協定書に基づく災害応急活動等に従事して頂きますようお願い申し上げます。
- ◆経営事項審査において、地域の防災活動に貢献する建設業者に対する評価として加点されておりますが、社団法人等の団体が防災協定を締結している場合の確認書類として、当協会で「証明書」を発行いたします。
- ◆総合評価方式の実施方針において地域貢献（大規模災害時時の応急対策等）が加点されておりますが、社団法人等の団体が防災協定を締結している場合の確認書類として、当協会で「証明書」を発行いたします。

災害時における中国地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定

国土交通省中国地方整備局長（以下「甲」という。）と、社団法人 日本建設機械化協会中国支部長（以下「乙」という。）とは、災害時における中国地方整備局所管施設の災害応急対策業務の実施に関し、次のとおり協定する。

（目的）

第1条 この協定は、地震、大雨、台風等の異常な自然現象及び予期できない災害等の場合に、甲が管理または工事中の施設等（以下「所管施設」という。）において発生した災害の応急対策業務（以下「業務」という。）に関し、乙は業務の遂行に必要な建設機械、資材、技術者及び労力等（以下「建設資機材」という。）の確保及びその動員の方法を定め、もって、被害の拡大防止と被害施設の早期復旧に期することを目的とする。

（業務の実施範囲）

第2条 業務の実施範囲は、中国地方整備局所管施設において発生した災害の業務を必要とする箇所とする。

（業務の実施体制）

第3条 乙は、あらかじめ業務の実施体制として、動員できる乙の会員の建設資機材の編成表及び連絡系統を作成し、甲に報告するものとする。なお、第9条ただし書きに基づき協定を継続した場合は、年度当初にこれの見直しを行い、甲に報告するものとする。

2. 乙は、前項の規定に基づく報告の内容に変更が生じた場合は、速やかに甲に報告するものとする。
3. 甲又は甲が所掌する事務所及び管理所の長（以下「事務所長等」という。）が必要と認めるときは、乙に、第1項に関する最新情報の提供を要請することができるものとする。また、乙は、その要請があったときは、速やかに最新情報を提供するものとする。

(業務の要請)

第4条 甲又は甲の所掌する事務所長等は、所管施設に災害が発生し必要と認める場合には、その被災状況に応じて乙に乙の会員の出勤を要請することができる。

なお、要請は原則文書によるが、緊急の場合は口頭又は電話等により行い、後日速やかに文書で出勤要請手続きを行うものとする。

2. 乙は、前項の要請があったときは、特別な理由がない限り、これに応じるものとする。

(業務の実施)

第5条 乙は、甲又は事務所長等からの出勤要請に基づき、現地に出動する会員名を甲又は事務所長に通知するものとする。

2. 乙の会員は、甲又は事務所長等からの出勤要請について乙から連絡があったときは、できる限り速やかに所管施設の被災状況を把握し、甲又は事務所長等の指示により業務を実施するものとする。

また、乙の情報提供についても同様に実施するものとする。

3. 業務の実施内容は次のとおりとする。

- 一 ゲート設備等機械設備の故障等の応急対策
- 二 排水ポンプ車の故障等の応急対策
- 三 応急対策建設機械の保有・修理に関する情報提供
- 四 遠隔操縦式建設機械及び操縦技術者に関する情報提供

(契約)

第6条 甲又は事務所長等は、第5条第2項に基づく要請に応じて出動した乙の会員と速やかに工事請負契約を締結するものとする。

(実施範囲の特例)

第7条 乙は、甲が特に必要として、第2条に規定する範囲以外に出動を要請した場合には、特別な理由がない限り、これに応じるものとする。

(損害の負担)

第8条 業務の実施に伴い、第三者に損害を及ぼした場合、又は乙の会員の建設資機材に損害が生じた場合においては乙又は乙の会員は、その事実の発生後速やかにその状況を書面により甲又は事務所長等に報告し、その対応について甲又は事務所長等と、乙又は乙の会員が協議して定めるものとする。

(有効期限)

第9条 この協定の期間は、協定を締結した日から平成21年3月31日までの期間とする。ただし、期間満了の1箇月前までに甲、乙いずれからも書面により何ら申し出のないときは、引き続き同一条件をもってこの協定の有効期間を1年間延長したものとみなし、その後もまた同様とする。

(その他)

第10条 この協定に定めのない事項、またはこの協定に疑義が生じたときは、その都度、甲、乙が協議してこれを定めるものとする。

この協定の証として、本書2通を作成し、甲、乙が捺印の上、それぞれを各1通保有するものとする。

平成20年 6月 10日

甲 国土交通省 中国地方整備局
局長 藤田 武彦

乙 社団法人 日本建設機械化協会
中国支部長 中村 秀治

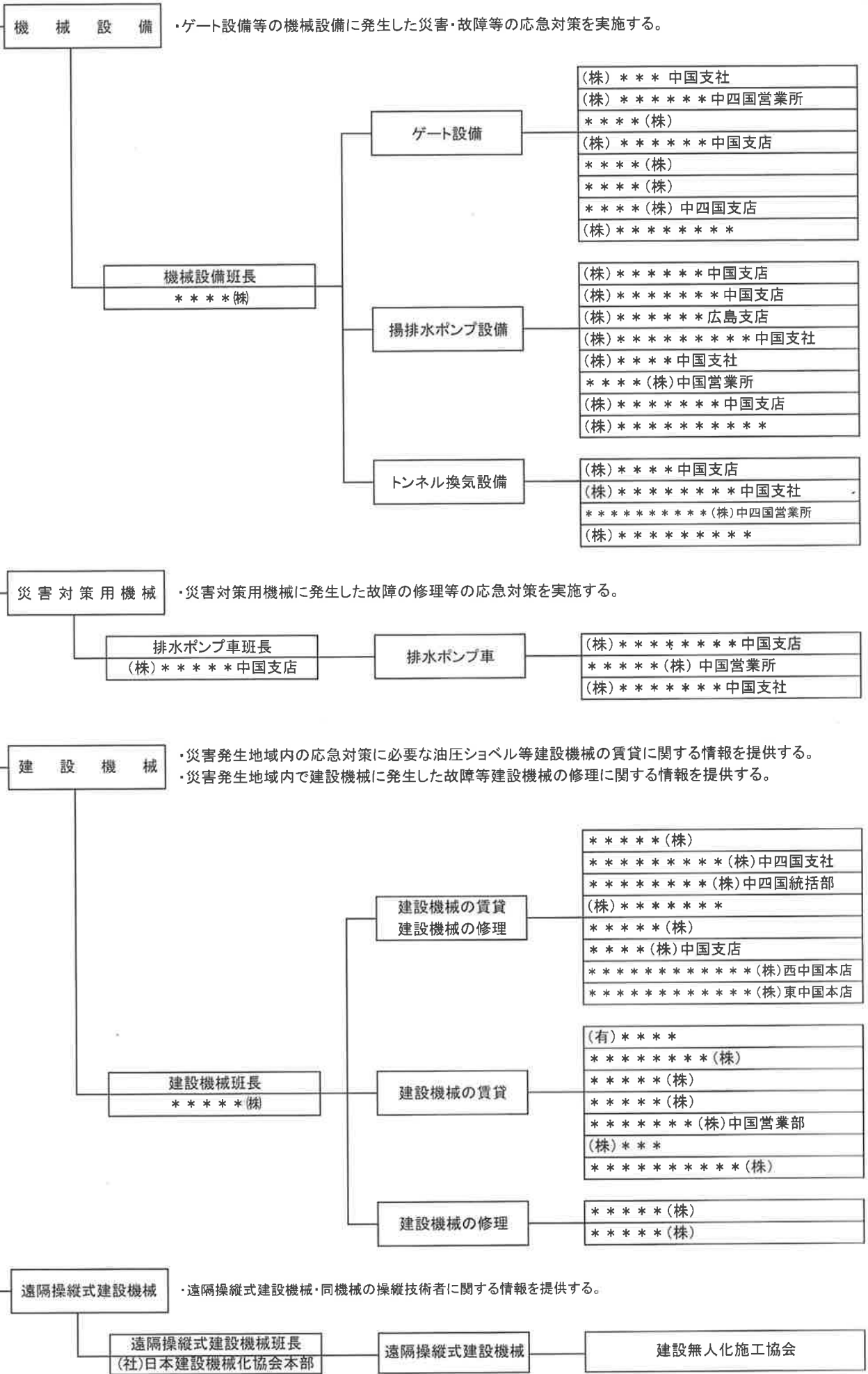
印

印

応急対策業務の実施体制表

(平成20年6月10日現在)

(社) 日本建設機械化協会 中国支部



■ 会員紹介コーナ

豊国工業株式会社

本社所在地 [〒739-0024 広島県東広島市西条町御藪宇6400-3]
 代表者 [代表取締役社長 金谷 俊宗] 創業 [昭和32年10月]
 電話 [082-493-7000(代)] FAX [082-423-8325] URL [http://www.hokoku-kogyo.co.jp/]

「水」と「光」と「風」と「土」の未来のために。

今世界各地で美しい自然を守り、次世代に伝えていく取り組みがはじまっています。豊国工業の活動領域は「水」「光」「風」「土」。自然と密接に関連したフィールドの中で、いち早く環境を豊かにするテクノロジーを開発し、暮らしの身近な場所に展開しています。そして、より快適な未来を創造するために、新たな変革と挑戦を重ねています。

『千年先も地球でいたい。』豊国工業です。

〔最近の実績紹介〕

中国地方整備局土師ダム（広島県安芸高田市）の既設堰堤を掘削（別途施工）し、低位放流設備として施工した新しい形式のダム用放流ゲートです。



〔工場組立時〕

通称「引張ラジアルゲート」と呼ばれています。



〔現地完成時〕

本設備は、コスト縮減と洪水初期のゲート操作の省力化・合理化ならびに、洪水量に満たない洪水に対する洪水警戒体制の省力化を目的として施工されました。

なお、ゲート1門あたりの計画放流量は、制限水位（EL. 242.900m）において70 m³/sです。純径間2.285m×呑口高2.13 m×1門【全国で4例目の設備で、中でも最大規模を誇るゲートです。】

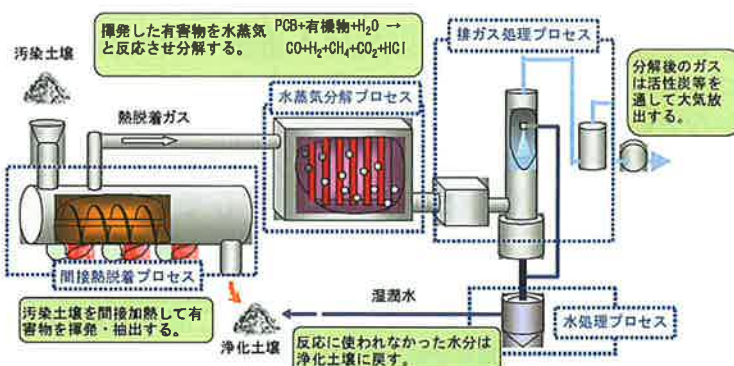


株式会社鴻池組

所在地 [本社 〒530-8517 大阪市北区梅田 3-4-5]
 [広島支店 〒730-8533 広島市中区八丁堀 2-31]
 代表者 [代表取締役社長 玉井啓悦] 創業 [明治4年] 会社設立 [大正7年]
 電話(広島支店) [082-228-1160] FAX [082-228-1136] E-mail []
 URL [http://www.konoike.co.jp]

「かけがえのない地球のためにできること」その答えを求めて、鴻池組はグローバルな視点から様々な環境問題に幅広く対応できる独自のノウハウや技術開発に取り組んでいます。

ジオスチーム法は、PCBやダイオキシン類に汚染された土壌を加熱して汚染物質を蒸発させて土壌を浄化し、土壌から蒸発させた汚染物質を水蒸気により分解する技術です。この技術を活用して、㈱テルムは㈱東芝・㈱鴻池組の技術支援により、平成19年8月に日本で初めてPCB汚染土壌浄化事業を北九州市で本格スタートさせました。さらに、㈱東芝・㈱テルム・㈱鴻池組の3社は平成20年8月に㈱ジオスチームを設立し、㈱テルムの事業を引き継ぎ、全国規模でPCB汚染土壌の処理推進に取り組んでいます。



■ お知らせ

◆平成20年度 建設の機械化施工優良技術者の受賞者の慶びの声

*建設業界を取り巻く環境は、非常に厳しいものがありますが、今回の表彰を契機に今後の社会資本整備に携わる者として、循環型社会を目指し生活環境、地球環境に優しい工法の研究、開発に努めて行きたいと思っております。
アイサワ工業 (株) 植木章雅

*この度、優良技術者として表彰していただき、大変うれしく思うと同時に、多少の気恥ずかしさも感じています。今後も、この賞をばげみに仕事に従事していきたいと思っております。
ありがとうございます。
(株) 大和エンジニアリング 後東輝信

*この度は、表彰していただき有り難うございます。重機工場に配属され15年が経ちますが多くの仕事、経験が必要な職場です。機械の変化も早く、ニーズも多様ですが、今以上に頑張りたいと思っております。
ヤマモトロックマシン (株) 瀬尾秀史

*推薦下さいました会社の皆様に厚く御礼申し上げます。日頃より安全第一を優先に作業に取り組むことを指導された方々のおかげと心より感謝しています。これを機にこれからも終日を迎える日まで頑張りたいと思っております。
日本道路 (株) 水田吾三



実地試験 (建設機械操作施工法試験)

◆平成20年度 1・2級建設機械施工技術検定実地試験

試験会場 西部開発多目的広場 (広島商工センター)
所在地 広島市西区扇二丁目1番1号
試験種別 1種 2種 3種 4種
期 日 8月30日～8月31日
準備講習会 8月28日～8月29日

平成20年度 中国支部役員・会計監事・部会長等

支部長 中村 秀治 広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻教授
副支部長 高倉 寅喜 大林道路(株)中国支店副支店長
鶴川 稔 中国電力(株)執行役員流通事業本部部長 (土木)
会計監事 矢仲 徹太郎 コバルコ建機(株)開發生産本部技術管理部長
安田 征夫 (株)増岡組広島本店営業部第二部部長

	企画部会	広報部会	開発普及部会	施工技術部会
部会長	高倉 寅喜	小石川 武則	吉田 優	森口 正喜
副部会長	國吉 修司	西田 信行	阿土 繕 木村 博	西本 富志章 平木 昇

■ 編集後記

近年、異常気象と言われて久しくなりますが、日本のあちこちで局地的に起こる集中豪雨による災害が起きています。温暖化が原因とも言われていますが、以前は入道雲(積乱雲)は山の方に見えたものですが、最近では都市の高層ビルの上にも出来るようで、そのため、ピンポイント的に都市内で集中豪雨が起きるのだとか。なかなか、予測がつかないのだそうですが、①急に生暖かく感じる ②暑いのに冷たい風が吹いてくる ③急に暗くなるといったことを感じたら要注意だそうです。何はともあれ一人一人が温暖化防止の活動をじみちに行うことが肝心です。

最近はやりの熱さまシートを張って、この暑い夏を乗り切りましょう。

C Mnavi編集委員会

平成20年 8月 発行 編集・発行 (社)日本建設機械化協会中国支部C Mnavi編集委員会
〒730-0013広島市中区八丁堀12-22築地ビル402 TEL 082-221-6841 FAX 082-221-6831
http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/ Email jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp